

《2023年6月（通算320回）限定サロン報告》

\*\*\*\*\*

# NPO サロン 2002 総会後の意見交換会

## —2023年度（以降）の事業と組織を考える—

\*\*\*\*\*

【日時】2023年6月17日（土）16:30～18:00（その後懇親会 21:00 ごろまで）

【会場】東京都千代田区平河町二丁目16番1号 平河町森タワー12階事務所  
およびオンライン（Zoom）

【テーマ】NPO サロン 2002 総会後の意見交換会—2023年度（以降）の事業と組織を考える

【参加者（10名）】 ★はNPO会員

- ・対面 …★石原俊秀、磯和明、★春日大樹（早退）、★熊谷建志、★関秀忠、★中塚義実、★本郷由希
- ・オンライン …★笹原勉、★茅野英一、★本多克己

【懇親会参加者】 同会場で実施。最後は屋上へ！

★石原俊秀、磯和明、★関秀忠、★中塚義実

### 参考：2023（令和5）年度（通算第9回）定例総会。

開催日時：2023（令和5）年6月17日（土）15時00分～16時22分

開催場所：東京都千代田区平河町二丁目16番1号 平河町森タワー12階事務所  
およびオンライン（Zoom）

出席状況：社員総数27名 有効出席数23名（うち11名が委任状による出席）

議決権総数：27個

有効議決権数：23個（委任状による表決委任11個）

決議事項

第1号議案 令和4（2022）年度 事業報告

第2号議案 令和4（2022）年度 決算 および 会計監査報告

第3号議案 令和5（2023）年度 事業計画

第4号議案 令和5（2023）年度 予算

いずれも承認された。

### 【目次】

I. 理事長からの現状報告と問題提起（中塚義実）

II. ディスカッション

1. 事業について … 公開シンポジウム/U-18FLCC

2. 組織について … 潜在的ファミリーへのアプローチ/事務局業務/次世代支援

## I. 理事長からの現状報告と問題提起（中塚義実）

### 1. NPO サロン 2002 の組織について—近年の動向

スライドに沿って、NPO サロン 2002 のあゆみ、特に近年の動向を再確認します。

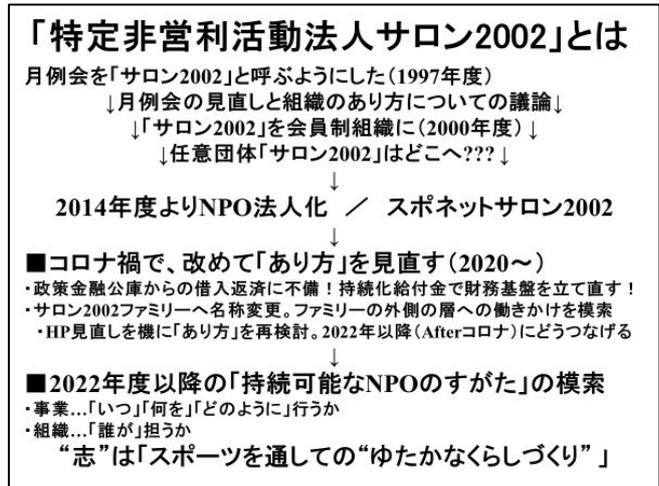
1997年度よりサロン2002の名称で活動をはじめ、毎月開催する月例サロンは今回で通算320回となりました。2014年度にNPO法人化。ここは大きな節目でしたが、2020年初頭からのコロナ禍で、改めて「あり方」を見直すこととなりました。2022年度以降の「持続可能なNPOのすがた」を模索することに引き続き取り組んでいるのがいまの状況です。

2014年度のNPO法人化の意図は、「事務局機能を強化したい！」「組織としての姿がみえるようにしたい！」「事業の担い手としての“サロン2002”となっていきたい！」でした。いまだどうなっているかが右スライドです。昨年度のこの会で示したものに赤字で追記しました。

事務局については、HPとつないでいろんなことを自動化していく構想があるものの、マンパワー不足でそこまで至らず、事務局員が「退会」する事件までありました。引き続き大きな課題です。

2021年度中にHPが改修されたのは大きな成果です。SNSの活用も話題に上りますが、こちらもマンパワー不足でなかなか進みません。月例サロンが「公開」と「限定」に整理されたのはよかったです。徐々に対面での開催を取り入れ、かつての月例サロンの雰囲気求めつつ、遠方の方々ともつながるハイブリッド型を志向していきたいと思えます。

事業の担い手としては、何年かやっているうちに、千曲市でのU-18フットサルリーグチャンピオンズカップがメイン事業に育ってきているのを感じます。月例サロンや公開シンポジウムとともに、引き続き充実したものに育てていきたいところです。



**NPOサロン2002の“いま”**

- ◆事務局機能を強化したい！
  - 法人化以降もボランティアの運営が続く
  - 「プロ意識を持ったボランティアとボランティア意識を持ったプロ」による手弁当運営
  - 事務局への依存傾向増(?) / コロナ禍による引継ぎ不備
  - 2021年度より理事と事務局の業務を明確化(財務等)
  - **2022年度中に事務局員「退会」。新システム導入も進まず...**
- ◆組織としての姿がみえるようにしたい！
  - 他の組織との連携強化を図ることはできている(共催事業等)
  - totoの助成金を受けて新規事業に取り組む
  - 一般への認知度は低いまま。「サロン」の名称についての疑念？
  - HPの見直しとSNSの活用を検討中 / 「月例会」の見直し等
  - **2021年度中にHP改修。SNSの活用を志向するが...**
  - **月例サロンは「公開」と「限定」に。対面を導入しハイブリッドに...**
- ◆事業の担い手としての“サロン2002”となっていきたい！
  - ・月例会、公開シンポジウム、出張サロンなど、これまでやってきた事業は継続
  - 収益事業とはなっていない(宣伝不足)
  - ・“ゆたかなくらし”を志向する良い活動の担い手になりたい
  - DUOリーグの事務局: サロン2002が担いすぎた → 2021年度より離れる
  - 「リサイクルプロジェクト」「スキッププロジェクト」を担う → 停滞中
  - 「オリンピック教育」「U-18フットサル」を他の機関と連携して進める → 継続中
  - **「U-18FLCC」と「公開シンポジウム」をより充実させたい！**

メンバーシップの図も昨年度に示したものです。NPO 会員と会員外のサロンファミリーは行き来してもかまいません。現に登録種別を変更される方は毎年数名ずつおられます。広い意味での「サロン 2002 ファミリー」は、“志”に賛同し“Give and Take”の意識を持っている仲間なので、このつながりを大事にしていきたいですね。

そのうえで、サロンファミリーの外側にいる「潜在的サロンファミリー」への働きかけをもっともっとやっつけていこうというのが、ここ数年議論されていることです。年

会費 3 万円の「賛助団体」も獲得していかねばなりません。サロン 2002 の基礎体力を高めるために、以下の 3 点が不可欠です。

- ・サロンファミリーを増やしていく！
- ・ファミリーの外側に広がる層への働きかけとつながりを！
- ・各事業に対する営業努力も！

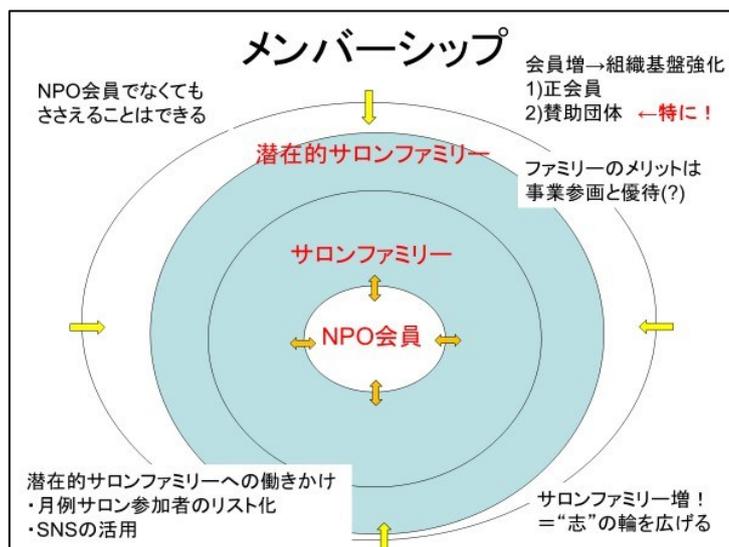
## 2. サロン 2002 の事業について

ここ数年の月例サロンの様子です。

2020 年度は「新型コロナ」にフォーカスし、2021 年度は「スポーツと安全」をメインテーマに据えました。2021 年度は「JFA100 周年」というタイムリーな話題を公開シンポジウム②で取り上げました。

2022 年度は、23 年度と 2 年計画で考えています。「スポーツとアート」「ユースリーグ」を中心に月例サロンを構成

しましたが、行きつくところは「遊び」です。スポーツやアートの原点ともいえる「遊び」をいろんな角度で探りつつ、タイムリーな話題も取り上げて、月例サロンを構成していきたいと思えます。



## 月例サロンと公開シンポ

- ◆2020年度は「新型コロナウイルス」にフォーカス  
公開シンポジウムも「With/Afterコロナの時代に向けて」
- ◆2021年度は「スポーツと安全」をメインに、タイムリーな話題で構成  
公開シンポジウムも「安心・安全なサッカー」と「JFA100周年」
- ◆2022年度(2023年度も含め2年計画?)は、  
「スポーツとアート(の背後にある“遊び心”」「ユースリーグ(の背後にある育成年代のスポーツ環境の見直し)」をメインに、タイムリーな話題(ファミリーからの話題)も取り上げる
- ◆2023年度の公開シンポジウム...
  - 1)8月27日(日) 桐蔭会館「成田十次郎先生を語ろう！」  
柴田宗宏、真田久、竹下誠一、中塚義実
  - 2)11月某日 桐蔭会館「日本サッカーのルーツを語ろう②」  
筑波大学附属高校蹴球部100周年をめぐって
- ◆2023年度の月例サロンは...
  - 4月20日 公開「Afterコロナへのリスタート」 中塚・小松・柳・田中・笹原・本多・磯
  - 5月20日 公開「敗者が言い訳のできる運動場」 石原俊秀
  - 6月17日 限定「総会後の意見交換会」
  - 7月某日 公開「南極へ行ってきました(仮題)」 小松俊介
  - 9月某日 ラグビーワールドカップ(9/8~10/28)を徳田さんのスポーツパーで観戦

公開シンポジウムについては、すでに理事会で何度か意見交換し、方向性が定まっています。8月27日の「成田十次郎先生を語ろう！」については日時・会場・演者まで確定しています。11月の「日本サッカーのルーツを語ろう②—筑波大学附属中高蹴球部100周年を機に（仮）」も、おおむねこの方向で進めることになっています。いずれも日本サッカー史の濃い話題で、関連団体と連携を図りながら進めていきます。

昨年8月7日に亡くなられた成田先生を「偲ぶ会」が、5月12日（金）に高知市内で行われました。翌日は出身地である仁淀川町で「追悼展」の基調講演を、僭越ながら私がさせていただきました。8月27日のシンポジウムはこのときのプレゼンを軸に据え、3名の演者からのエピソードをまじえながら成田十次郎先生の功績を多くの方に知っていただくものです。

サロン2002としては、2008

年3月例会として「成田十次郎先生にきく—高知・日本・ドイツのサッカーとトリムカップ」を開きました。「出張サロン in 高知」でもありましたが、これが公の場ではじめて、成田先生がクラーマー招へのいきさつを語られた貴重な報告です。今回はその続編とも言えるものです。2024年度の日本サッカー殿堂入りに向けて、茗友サッカークラブ、筑波大学蹴球部、高知県サッカー協会が連名で推薦することになっています。成田先生の功績を多くの方に知っていただく機会としたいと思います。

ほかに、今年は女子ワールドカップやラグビーワールドカップが開催されます。月例サロンで取り上げたいし、皆で観戦する企画もいいですね。フットサルで汗をかき、そのまま飲みに行くような「軽い」企画も、コロナ禍ではできませんでしたが、ニーズはあるようです。やってみましょう！

## II. ディスカッション

### ◆公開シンポジウム「成田十次郎先生を語ろう」（事業）

春日：シンポジウムは筑波大学蹴球部の色が結構出ているが、筑波のコミュニティ以外の方々、特に若い層をうまく取り込むためには、歴史を語るだけでなく、訴求の仕方を考える必要がある。

石原：つかみが大事。例えばスター選手を活かすなど。きっかけがあれば興味を持つ。参加できなくても著名な方の映像を流すなど。

山下則之氏のグランパス立ち上げの話（待ち伏せしてトヨタ会長を口説いた話）など、Jリーグ発足のころの裏話などもおもしろい。

中塚：「偲ぶ会」や「追悼展」では、JFAの田嶋会長や川淵さんのインタビュー映像があった。それらを

## 「成田十次郎先生を語ろう！」

- ◆2022年8月7日に亡くなられた成田先生の功績を、世代を越えて共有したい
- ◆成田先生の日本サッカー殿堂入りにつなげたい

主催：特定非営利活動法人サロン2002  
後援：筑波大学蹴球部同窓会茗友サッカークラブ、筑波大学蹴球部、  
(公財)高知県サッカー協会（おおむね了解）  
協力：日本サッカー史研究会（これから打診）  
日時：2023（令和5）年8月27日（日）14:30～17:00（受付14:00）  
会場：桐蔭会館  
〒112-0012 東京都文京区大塚1-9-1（筑波大学附属中・高敷地内）  
演者：柴田宗宏（読売サッカークラブ初代主将／東京教育大学蹴球部OB）  
真田 久（筑波大学名誉教授／体育・スポーツ史研究者）  
竹下誠一（高知県サッカー協会理事／元高知放送）  
※中塚 義実（NPO法人サロン2002理事長／筑波大学附属高校）  
※コーディネーターを兼ねる

活用しながら進行を考えたい。

今回のシンポジウムでは、発信したい確かなものがある。伝えるべきことをしっかり伝えるようにしたい。若手を取り込むための迎合はしたくない。もちろん、結果的にファミリー増に繋がればそれに越したことはない。

熊谷：私は成田さんのお名前を存じ上げなかった。

例えば「牧野富太郎」の名前は知らなくても「植物学の父」の生涯に興味を抱かせることで朝ドラで取り上げられている。今中塚先生にご説明していただいて日本のサッカーの夜明けを見てきた人だということにはわかった。クラマーの提言をもとに全国にいろいろな形でサッカーが広まり、教え子が全国に広めてきたといったエッセンスを前面に出すことでシンポジウムの意義を訴求できるのではないかと。名前だけだと、確かに筑波大学サッカー関係の方の紹介という色が強く感じた。日本サッカーの原点を知ってもらいたいという観点など、アナウンス方法を工夫することが必要。参加してみたいと思うようなきっかけが重要だと思う。

石原：確かに牧野富太郎も高知だね。

#### ◆潜在的メンバーへのアプローチ（組織）

笹原：少し目線が変わるが、潜在的メンバーへのアプローチは進んでいるか？

熊谷：マンパワーがなかったためつぎ込めていない。スライドの中で、ファミリーの外の方にどうやってアプローチを続けるかという点があったが、公開サロン参加者に対してアプローチするための仕組みが作れていなかった。いまだにできていないところである。月例サロンやシンポジウム参加者の連絡先はわかっているので、例えば案内メールをそれらの方に配信するというのもよいのではないかと。

本郷：例えば、月例サロンの参加申し込みの際に「今後案内をお送りしてよいですか？」ということを確認するようにすれば、月例サロンの案内の宛先に加えるのはわりとすぐに着手できる気がする。

熊谷：これまで参加された方について、Peatix ではメールアドレスを集めていない。申込記録があれば、次回のアナウンスを行う仕組み（嫌な方はNGを出してもらおう）ができる。ただ、過去に参加した方のリストを整理する手続きはとっていない。そのため、アプローチする取組みもできていない。どうしてもマンパワーが必要なので、定例的な取組みとしては頓挫している状況だ。

中塚：サロンファミリーにはMLで、そのほかにも個人的にfacebookで、公開サロンの案内は送っている。個人でできることはどんどんやるべきである。

本郷：これから参加した方のメールアドレスを集めてみるのも良いかもしれない。

春日：Peatixでの自動収集はない。何を送るかが問題だ。

本郷：誰がやるかはいったん置いておいて、毎回「次回の月例サロンで何をやるか」程度のアナウンスはできるのではないかと。

熊谷：「次回これやるよ」というアクションくらいからライトにやりませんか？

本郷：発言しておいて消極的な意見を言うのもあれだが、アドレスを集めて案内を送ることそのものよりも、停止希望の連絡を受け付けてきちんと送付先から削除できる運用できるかが大事な気がする。

春日：管理ができておらず、送り続けるというトラブルを回避しなければならない

中塚：NPO サロン 2002 が組織としてどのように取り組むかは重要だが、その前に、サロンファミリー一人ひとりができることはもっとある。できることをやっていくべきである。

春日：各自、自分が持っている媒体から発信するということですね。

本郷：例えば、月例サロン参加者に「サロン 2002 の Facebook ページをフォローしてください」という案内をするというのも、最低限のチャレンジとして良いかも知れない。Facebook の機能としてアプローチが可能で、次回以後の案内をするという狙いは達成できるし、参加社側の操作でフォロー解除が可能なので、サロン 2002 としても管理しやすいかもしれない。

本多：「面白いですよ」という発信と、サロン理事の「担当業務」としての発信と、議論が二つあるように思う。あくまでも我々はボランティア集団なので、積極的にやっというとはなかなかかなりにくいですが、それぞれの関心事に応じて、できることに取り組むべき。

私の場合、U-18 フットサルを盛り上げたいと思うから、その分野において積極的に発信している。発信しなければならないと思う人をどうつかんでいくか。理事だからということではなく、「関心が強いからやる」という方向で、無理のない形で進めたい。

中塚：やりたいからやる、面白いからやる、というのが基本だと思う。

#### ◆U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ（事業）

本多：U-18FLCC の大会期間が今年度から 3 日間になる。これを機にいろんなことを見直していきたい。

コロナ禍ではじまったことだが、動画配信がよいチームになってきている。このように、もし前夜祭をするのなら、「前夜祭チーム」を設けて進めるべき。本郷さんが「動画配信チーム」を仕切ってくださっているような形でチームを作ってみてはどうか。そうすれば新しい人材を U-18FLCC に呼び込めるような気がする。

中塚：担当者同士で実務的な話はしているが、皆で U-18FLCC のあり方について皆で話をする機会がなかなかなかった。よい機会なのでこの話を続けよう。

千曲市とどうつながっていくかも大事なポイント。昨年度のシンポジウムはあるが、まだまだ十分にはできていない。温泉街を、U-18FLCC9 とともに盛り上げていきたいのだが…。

本多：旅館組合の外国人の方や観光局の方など、サロンとともに一緒に動かしたい。

僕自身は、動画のところは切り離してやってもらいたいと思っている。ある程度分担・キャスティングしないと破綻してしまう。

本郷：このタイミングで申し上げにくいですが、大会期間が 1 日増えることで、新年早々に家族から離れて 3 連休まるまる参加ということで、参加が難しくなる面はある。前夜祭の意義は理解しており。大会と

してもやった方が良いと思うが、自分自身がフルコミットできるかという難しい面がある。

磯：今年、フットサル B 級コーチ講習会を受講予定で、地元の国立市でもフットサルチーム創設を検討中であり、今後さらにフットサルに注力していきたいので、U-18 も一緒にやっていきたい。

(ただ、1月初の週末は私のフットサルチームで毎年大会に参加しているため、難しいかも・・・)

#### ◆事務局業務について（組織）

春日：今日は早退しなくてはならないので、ここで失礼する。

中塚：せっかくなので春日さんからコメントありますか？

春日：事務局の拡充をお願いしたい。守屋さんや柳さんが月例サロン報告書の文字起こしをしてくれるので助かっているが、それ以外の業務もある。手が回らなくなっている状況もある。

熊谷：月例会のプラットフォームを共通化、自動化を検討したい

本郷：例えば、ネットバンキングで口座の入金確認を事務局が直接見られるようにしようという話のように、仕組みとして事務局タスクをもっと楽にして、結果的にミスも減らしていくような方法が他にもあるはずだと思う。

磯：NPO サロン 2002 の事務局のことは具体的にはわからないが、私は IT 系の人間なので、自分のクラブには Microsoft365 を導入して楽に整理しようとしている。エクセルを活用した自動化は可能。ファイル共有で苦労している。

本郷：Office365 もたしか techsoup で割引があったように記憶している。現在の事務局のファイル管理などを見てみると、Google ドライブに寄せようとしているのかなとは想像している。google workspace でも office365 と同じようなことが実現できるはずなので、磯さんがやろうとしているのと同じようなことは目指せると思う。

本多：テックスープ、Office365 など色々ある。

熊谷：使用するサービスそのものよりも、会員の会費の支払管理や、毎回の月例会サロンの Peatix 管理の個人情報の扱い、会員でもファミリーでもない方の識別など、連携ができていない点が大きな課題。例えば去年 9 月のトラブルは Zoom の URL の送信漏れ。労力をかけずに、漏れないように整理できるかが課題。

磯：Google は自動返信機能がある。会員のマスターと紐づけることはやろうと思えばできる。マンパワーが乏しいことは、どこのスポーツ団体でも課題となっている。

熊谷：サロンは多様な話題を取り上げることができる「プラットフォーム」。シンポジウムをする、月例サロンをする、何をする…。いろいろある「幕の内弁当」のような多種の活動を支援する上で、そのプラットフォームが問題ないように、かつ労力をかけずに効率的にできるようにしたい。もう一度整理して良い方向に見直したい。

本郷：磯さんがおっしゃった自動返信機能は Peatix にも機能としてある、去年の送信漏れの際は、自動送信機能を使っておらず、開催直前の参加申込みに対して手動で Zoom の URL を送ろうとして未送信になってしまった。

磯：高齢者層と、そうでない層で、対応を分ける必要があるかもしれない。私のクラブでは、今後の予定を公開しており、指導者が自分で入れることになっているが、やらない指導者がいる。

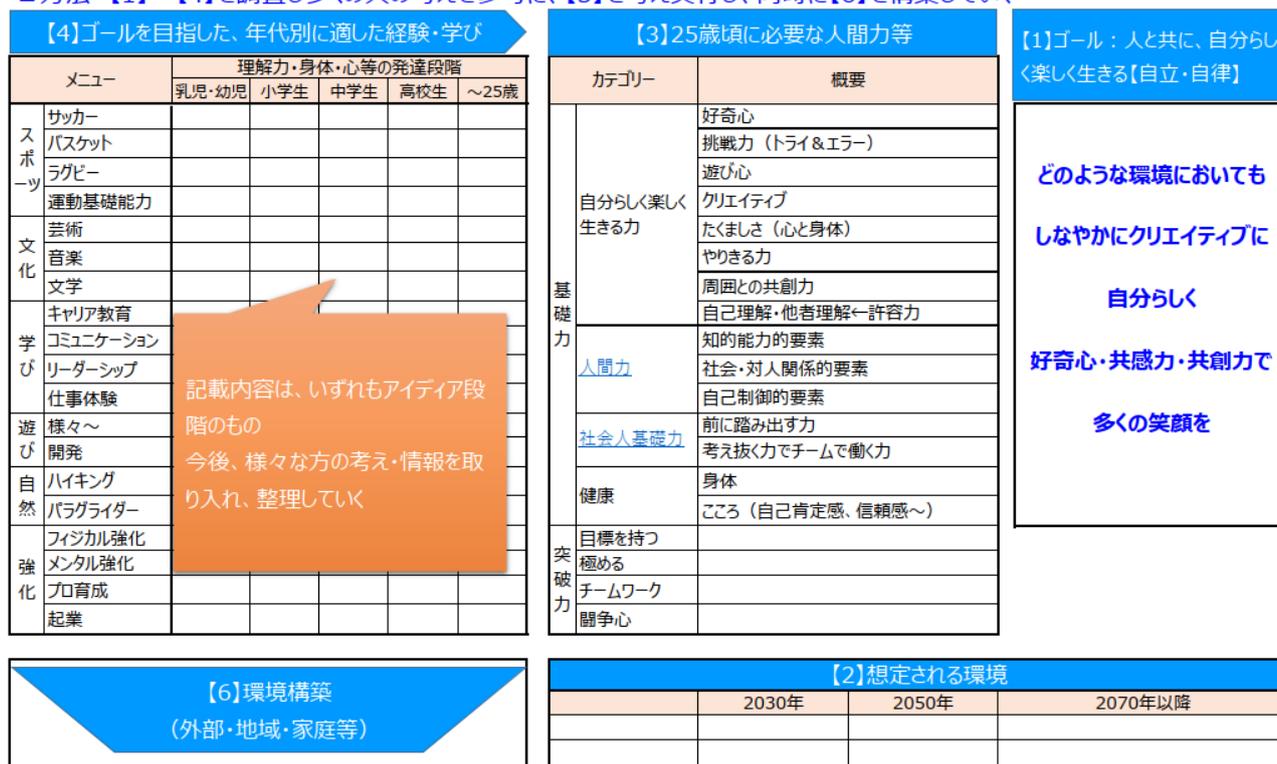
### ◆「次世代成長支援」について（組織）

磯：私が今後取り組みたいこととして、「次世代成長支援」のための活動がある。いまの若者が「どのような環境においてもしなやかにクリエイティブに自分らしく、好奇心・共感力・共創力で多くの笑顔を」といったゴールを考え、これを実現するために必要なコミュニティ（様々な体験・学びの場）を考えていきたい。そのために、今後様々な分野の方々と 10 回程度の対話会を重ね、構想を固めていきたいと考えており、サロン 2002 でも一緒に検討させて頂ければと考えています。

【次世代成長支援への初めの一歩】

20

- 目的 社会でひとり立ちしていく25歳頃に、一貫したストーリーで必要な人間力等が身につく成長支援をしていきたい。
- 方法 【1】～【4】を調査し多くの人の考えを参考に、【5】を考え実行し、同時に【6】を構築していく



石原：世間でよく取り上げられていますよね。大谷祥平が書いた目標のようなもの。

磯：アスリート向けのキャリアコンサルタントもある。中学・高校から入れよう。右下の想定される環境。2030年、2050年、2070年頃にどうなっているか。ここをご検討してもらうことを考えている。

中塚：この話、おもしろいですね。「限定サロン」の終了予定時刻になろうとしています、「懇親会」の中でこの話もしていきましょう。

## おわりにー2023年6月18日付 ML 投稿（中塚）より

2023.6.18.（中塚義実）

サロン 2002 ファミリー（含 NPO 会員）各位

昨日は NPO サロン 2002 の通常総会。その後の限定サロンで自由な意見交換をし、引き続き同会場（平河町森ビル 12 階事務所）で懇親会。あたりが暗くなってから 24 階（屋上）に移動して、夜景と足湯を楽しみながら、石原さんご提供の高級シャンパン *Veuve Clicquot* をいただくという贅沢なひとときでした。松葉杖にもかかわらず会場を提供してくださった関理事はじめ、みなさんどうもありがとうございました。

2023 年度も盛り上がっていきましょう！